



↑前掛けを交換する児童（写真上）と新しい前掛けに身を包んだ6体の田の神さあ

★ 城小児童が前掛けを製作 田の神さあに豊作を祈願

6月26日、城川内小学校（奥園正和校長）の6年生12人が唐隈集落にある「田の神さあ」に手製の前掛けを奉納しました。

同校の、「ふるさと教育」の一環で行われ、生まれ育ったふるさとを誇りに思うような子どもたちを育てることを目的に実施されました。

前掛けは、児童たちが事前に家庭科の時間に繕ったもので、6体ある田の神の古くなった前掛けを交換しました。

田の神さあを初めて見たという中尾虹美^{ななみ}さんは「神様に顔がなくて驚いたけど、前掛けを交換すると何も無い顔に笑顔が見えた。きっと神様が前掛けを気に入ってくれたのだと思う」と話しました。

★ 国民文化祭をPR

ぐりぶーがやってきた

6月27日、「かごしま国民文化祭2015」をPRするため、県のマスコットキャラクター「ぐりぶー」が本町を訪れました。

この日は、町保健福祉センターでイルカ・ラッコ教室が開かれ、教室に来ていた幼児やその保護者らとふれあいました。

午後には、役場庁舎ロビーでもPRを行い、帰宅途中の小学生らが、ぐりぶーに駆け寄り、抱きついたり手をつなぐなどして楽しんでいました。



↑子どもたちと記念写真を撮るぐりぶー



↑大堂さん（左端）と一緒にそばを打つひまわり会の皆さん

★ 馬込で料理教室を初開催 手打ちそば食べて絆深める

6月29日、馬込公民館（濱田重則館長）で、集落内の絆を深めることを目的に、そば打ち教室がありました。同集落の女性らでつくる馬込ひまわり会のメンバー15人が参加し、笑顔の絶えない時間を過ごしました。

そば打ちを教えたのは、同集落の大堂直之^{おどう}さんで、御年89歳。出水市でそば屋を経営していた経験があり、その腕前を披露しました。

メンバーらは、慣れないそば打ちに悪戦苦闘しながらも、腰を入れてそばを打ちました。

出来あがったそばは、同集落の老人会の皆さんに振る舞われ「美味しい」と喜ばれていました。